

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

27

1 施策の概要

1-1 施策の名称	道路			基本施策コード	3-1-1
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	土木課	評価票作成者 土木課長 坪野順司
1-3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			
	②項	道路・交通			
1-4 施策の目的	幹線道路、生活道路を整備することにより、円滑な交通移動や交流の実現を市民に提供する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

● 施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	
①	自動車での移動が便利な道路網に対する満足度	76.0 (%)	81.0 (%)	106.6 (%)	78.0 (%)			道路網の整備に対する市民満足度に都市計画道路の整備率を乗じた道路網の充実を表した指標
②								
③								

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	生活道路の維持管理強化及び維持管理コストの増加傾向	道路新設からアセットマネジメントを基本にした道路維持へのシフト	区長要望工事は概ね実施できたが、各区により整備水準の格差が発生
平成19年度	市道全体の維持管理強化及び維持管理コストの増加傾向	道路新設から住民ニーズを精査参考にした整備を実施し、道路維持管理軽減へのシフト	区長要望工事は概ね実施できたが、居住地区により整備水準の格差が発生
平成20年度	〃	〃	区長要望工事は、概ね実施することができたが、各地区により工事の整備内容に差異が見受けられる。
平成21年度	〃	〃	〃
平成22年度	市道全体の維持管理コストの増加傾向は続いているが、そのなかで吟味・精査を重ねることでコストの軽減を行い処理件数の増加を目指したい。		
平成23年度	市道全体の維持管理コストにおいて増加傾向は続いているが、そのなかで吟味・精査を重ねることによりコストの軽減を図りつつ処理件数の増加を目指したい。		
平成24年度	市道全体の維持管理コストにおいて増加傾向は続いているが、そのなかで吟味・精査を重ねることによりコストの軽減を図りつつ処理件数の増加を目指したい。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

